



2025年3月25日

各位

会社名 株式会社スマートドライブ
代表者名 代表取締役社長 北川 烈
(コード番号：5137 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 管理部門担当 高橋 幹太
(TEL 03-6712-3975)

2025年9月期第1四半期 質疑応答集

当社の2025年9月期第1四半期決算に関して、機関投資家及び個人投資家の方々から頂いた主な質問と、その回答をまとめましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めること、及びフェアディスクロージャーを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

記

質問	回答
売上の時期ずれはなぜ発生するのか。対策は。	F0事業の車両管理サービスにおいて、シガーソケット型車載器は出荷時に売上計上しますが、ドライブレコーダーは取付工事完了後に売上計上します。そのため、受注案件の取付工事が四半期末までに完了しないことが、売上の時期ずれの要因となります。 特に、営業拠点数や車両台数の多い顧客との取引において、ドライブレコーダーの発送や取付工事の日程調整に時間を要することが時期ずれの主な要因となっています。 対策として、顧客と当社との間の契約条件の一部変更等の対応を実施済みであるため、2025年9月期下半期以降は、売上の時期ずれは減少する見込みです。
今回の決算について、スマートドライブとしての評価は。	売上については上記の通り2025年9月期第1四半期は時期ずれの影響があったものの、新規受注金額・受注状況については社内計画通りの進捗となっております。 利益については販売費及び一般管理費において一過性のコストが発生したものの、売上総利益率が計画を上振れて着地したため、社内の評価としては、売上・利益ともに計画比で堅調だったと考えております。 また、上記の一過性のコストは、監査法人交代や統合報告書作成に関わるもので、第2四半期以降は発生しない見込みです。
採用が想定以上に進捗した旨の説明があるが、通期業績への影響はどうか。	スマートドライブ単体（日本法人）においては、2025年9月期第4四半期末に従業員数109名を計画していますが、第1四半期末時点で102名となりました。但し、通期の人員計画は変更していないため、第1四半期における採用教育費の増加も、通期では計画の範囲内に収まる予定です。 なお、今回の採用の内訳は、新規事業開発に向けた人員補強、並びにF0事業における人員補強です。 また、採用が計画を上回るペースで進捗しているため、新規採用人員に関わる人件費は、通期でも計画を上回る見込みです。 但し、売上総利益率は計画を上振れており、当該人件費の増加は売上総利益の上振れと相殺されるため、通期営業利益への影響は軽微であり、利益計画も変更不要と判断しました。



自己株式取得を開示したが、
具体的な目的は。

方針として、当社グループの事業は多額の設備投資等を必要としないため、新規事業やM&Aを含む成長投資を進めつつ、それと並行した株主還元の実施が可能と考えています。

今回の自己株式取得は、今後の株価上昇を期待して実施しました。

なお、取得した自己株式は株価上昇時におけるM&Aの対価としての活用、または社内インセンティブの対価として活用することを予定しており、希薄化を抑えながら成長戦略実行と企業価値向上を目指します。

以 上